

令和4年度寿楽荘事業報告・決算報告(抜粋)

総括

安定した運営の根幹となる稼働率に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度計画目標の達成はならなかった。令和5年度も東京都のPCR検査事業が継続される間は自主抗原検査を併用しながら施設内クラスターの発生予防に努め稼働率の向上を目指したい。

一方、施設の運営方針として、利用者の安心・安全な生活の確保を最優先としながらの収入の維持は、重要課題の一つとして挙げられるが、職員が確保できない状況でのサービス提供は重大事故の発生及び職員の疲弊問題に派生する。事業所の経営姿勢としては消極的な形態とならざるを得ないが、事業所のベッド数ではなく介護職員数及びその技量に応じた利用者数の調整・運営も視野に入れていく必要があるかもしれない。

今後5類への移行により高齢者施設従事者である職員と、一般生活を送る周囲との差異に対するストレスを如何に職員自身が消化することができるか、事業所はどう対処すれば良いのかなど、職場環境の整備に関しては権利の行使に対する義務の履行も含め課題が山積するが、一つひとつ丁寧に対処していきたい。

詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和5年3月31日
資産・負債の内訳		寿楽荘
資産の部		***
1. 流動資産		***
流動資産合計		336,995,798
2. 固定資産		***
固定資産合計		1,161,061,730
資産合計		1,498,057,528
負債の部		***
1. 流動負債		***
流動負債合計		51,878,477
2. 固定負債		***
固定負債合計		65,003,732
負債合計		116,882,209
差引純資産		1,381,175,319

拠点区分貸借対照表			令和5年3月31日
			寿楽荘会計
		借方	貸方
流動資産		336,995,798	
固定資産		1,161,061,730	
資産の部合計		1,498,057,528	
流動負債			51,878,477
固定負債			65,003,732
負債の部合計			116,882,209
基本金			62,081,323
国庫補助金等特別積立金			551,122,462
その他の積立金等			50,000,000
次期繰越活動収支差額			717,971,534
純財産の部			1,381,175,319
負債・純財産の部合計			1,498,057,528

拠点区分資金収支計算書			令和5年3月31日
(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日			寿楽荘会計
勘定科目		寿楽荘会計	
決算の状況	事業活動	事業活動収入計	775,257,550
		事業活動支出計	842,473,267
		事業活動資金収支差額 (-)	-67,215,717
	施設整備	施設整備等収入計	300,000
		施設整備等支出計	9,887,470
		施設整備等資金収支差額 (-)	-9,587,470
	その他の活動	その他の活動収入計	15,073,695
		その他の活動支出計	1,165,154
		その他の活動資金収支差額 (-)	13,908,541
		予備費 ()	0
当期資金収支差額合計 = + + -			-62,894,646
前期末支払資金残高			351,965,127
当期末支払資金残高 (+)			289,070,481

会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。